

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年2月18日 (2010.2.18)

【公表番号】特表2009-523540(P2009-523540A)

【公表日】平成21年6月25日 (2009.6.25)

【年通号数】公開・登録公報2009-025

【出願番号】特願2008-551272(P2008-551272)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

A 6 1 B 18/00 (2006.01)

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

A 6 1 F 2/14 (2006.01)

A 6 1 F 2/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/00 5 3 0

A 6 1 F 9/00 5 0 1

A 6 1 F 9/00 5 2 0

A 6 1 B 17/36 3 3 0

A 6 1 B 17/39 3 1 0

A 6 1 F 2/14

A 6 1 F 2/04

【手続補正書】

【提出日】平成21年12月22日 (2009.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

目のインプラントにおいて、

環状壁によって形成された近方領域、遠方領域及び内腔を有するチューブを備え、

前記チューブは、該チューブが目に配置された際に目の前眼房と連通する少なくとも 1 つの内腔への導入部と、チューブが目に配置される際に脈絡膜上腔と連通する少なくとも 1 つの内腔からの導入部とを有し、前記少なくとも 1 つの導入部はチューブの遠方領域に少なくとも 1 つの開口を有し、

前記チューブは、半径方向の壁厚が増大した第 1 の領域と、該半径方向の壁厚が増大した第 1 の領域の外方の半径方向の壁厚が減少した少なくとも 1 つの領域とを有し、それにより、チューブの全長の少なくとも一部分に沿って持ち上がった面及びくぼんだ面を交互に形成するようになったことを特徴とするインプラント。

【請求項 2】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、チューブの最遠方端に配置された開口から成る請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 3】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、チューブの一つ側面に沿って散在する複数の側面開口から成る請求項 2 に記載のインプラント。

【請求項 4】

前記チューブは、該チューブ上に一連の環状溝を形成するように半径方向の壁厚が増大

した複数の領域と半径方向の壁厚が減少した複数の領域とを有し、前記側面開口のすべてがチューブ上の一連の環状溝の遠方に配置される請求項 3 に記載のインプラント。

【請求項 5】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、チューブの一つの側面に沿って散在する複数の側面開口から成る請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 6】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、チューブの一つの側面に沿って散在する複数の側面開口から成り、前記側面開口のすべてがチューブ上の一連の環状溝の遠方に配置される請求項 4 に記載のインプラント。

【請求項 7】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、チューブの最遠方端に配置された開口から成り、前記チューブは、該チューブの全長の少なくとも一部分に沿って持ち上がった面及びくぼんだ面を交互に形成する一連の環状溝を有する請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの導入部は、半径方向の壁厚が増大した第 1 の領域によって形成された環状フランジによって少なくとも一部が囲まれたチューブの最近方端の開口から成り、前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、チューブの最遠方端の開口から成る請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 9】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、さらにチューブの一つの側面に沿って散在する複数の側面開口から成る請求項 8 に記載のインプラント。

【請求項 10】

前記チューブは、円形断面形状を有する請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 11】

前記チューブは、楕円形断面形状を有する請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 12】

前記チューブの遠方領域の少なくとも 1 つの開口は、インプラントが目に配置される際に脈絡膜上腔と連通する請求項 1 に記載のインプラント。

【請求項 13】

前記半径方向の壁厚が増大した第 1 の領域は、インプラントが目に配置される際に前眼房に配置される環状フランジから成る請求項 12 に記載のインプラント。

【請求項 14】

前記チューブの近方領域の全長の 1 mm 乃至 2 mm が、インプラントが目に配置される際に前眼房に配置される請求項 13 に記載のインプラント。